

みんなのとしょかん

みんなと

We♡図書館

2018 October
No.20

特集 第2回 押しホンバトル総選挙



みんなと1号から19号の
表紙を飾ってくれた
みなさんです。
ご協力ありがとうございました。



広島大学図書館
Hiroshima University Library

第2回 推しホンバトル 総選挙

ウェブ投票
はこちら



みなさんのご要望にお応えして(?) 2回目の推しホンバトルを開催します。今回は第1回の10冊を大幅に超える29冊の推しホンが集まりました。熱い思いが詰まった推しホンの中から、一番読みたくなった本に投票して下さい。各図書館に置いてある投票箱に投票してもらうほか、ウェブからも投票できます。みなさまの清き1票をよろしくお願いします。投票締切は11月30日(金)です。



No. 1

「LIFE SHIFT(ライフシフト):100年時代の人生戦略」リンダ・グラットン

推しホンタイトル: ライフシフトー^{100年時代の人生戦略} ペンネーム: 海溝パスタ

みなさんはたった一度の人生 何才まで生きたいですか?

僕はこの本に出会うまで、80歳まで生きれば幸せだなんて思っていました。しかし、1997年に生まれた日本人の半数以上は10才まで生きると予測されています。100年の人生が当たり前になると、私たちの生活スタイルや仕事観は大きく変化し、これまでの常識だけで自分のキャリアを決めるのは大きなリスクとなります。いつの時代も、強いものではなく、その時代の環境に適応したもののみが生き残ります。一度読んでおてはいかがでしょうか。

No. 2

「悪霊の島」スティーヴン・キング

推しホンタイトル: 悪霊の島

ペンネーム: ワイアマン

「最上の才能は、つねに飢えなのである。」

事故により、右腕を失い、さらに言語障害を患ってしまった主人公エドガー、それ引き換えに爆発的な絵画の才能を発揮していく。そしてそれは、成功と破滅の始まりだった……。さびれたフロリダのリゾート地に残る伝説と孤独な老女そして、エドガーを追いつめるパーシーとは? じわりじわりと迫り来る恐怖、全てを失った絶望の後に残る群と癒し、圧力的極みになり、現代アメリカを象徴するアイテムや英語ならではのユーモアも垣間見える。"ただのホラーではない" モダン・ホラーの帝王、スティーヴン・キングの熟期の傑作。

No. 3

「朝日書評大成」 朝日新聞社文化くらし報道部編

推しホンタイトル: 朝日書評大成 2001~2009 / 2009~2016 ペンネーム: ph675

朝日新聞に載った書評約7000点が載っており、文系・理系問わず社会問題・政治・歴史・サイエンス・アート・音楽・自己啓発・小説なんでもあります。

言い方は悪いですが、私のような素人で興味・思想に偏りのある(?)人の書評よりよほど良いのではないのでしょうか。実際にこれをきっかけとして見つけた本もいくつかあります。

自分の好きな本の書評を探して、共感・反論するもよし、選ばれてないことに悦に入るもよし、適当に開いて新たな本に出会うもよしです。おすすめの評者は(私は自身が理系だと思っているので)瀬名秀明と川端裕人ですが偏りなく読みましょう。

書名・著者名・評者名・出版社名・キーワードの索引付きで便利!!!!

No. 4

「安部公房全集<10>」 安部公房

推しホンタイトル: 安部公房全集 10 ペンネーム: 甲田申由

あの『砂の女』『箱男』で知られ、その難解な作風と奇矯な設定でファンを掴んで放さず、世界中に翻訳されている日本の戦後文学の代表者の人である安部公房。その安部公房片反ドラえもんこそが、収録作『いげの生えなパイ』である。

『いげの生えなパイ』は児童向けラジオドラマ作品であり、そのナレーションが収録されている。思えばかつて安部公房作品の中でも特に内容がわかりやすく、しかりとエレメンタリーであるところがある。内容は吹けば何にも出てくる、吸えば何でも吸い込むような魔法のパイとその所有者太郎くんの話。もちろん、安部公房らしい奇矯な展開や設定、皮肉や驚きユーモアもあるので安部公房ファンも楽しめる。安部公房の正統派でありながら異色作ともいえる本作を初読者からファンまで、広い人々に知ってほしい。是非、読んでみてほしい。そして、読むことで見えてくるテーマについて考えてみてほしい。

No. 5

「アメリカの鏡・日本」 ヘレン・ミアーズ 著 伊藤延司 訳

推しホンタイトル: 『アメリカの鏡・日本』 2015年02月 ペンネーム: 原百代さんからの伝言

みなさん、1946年にGHQの諮問機関「常設政策11人委員会」メンバーの一人として来日し(常駐基本法第2条に基く)帰米後の1948年(極東軍事裁判の判決年)に「Mirror for Americans, Japan」を著した Helen Mears (1900-1989)の問いかけに、耳を傾けてみませんか?

ヘレン・ミアーズは、アメリカ(連合国、GHQ)が日本どのようにみえたか、どのように捉えていたかを直接に述べた上で、その対日占領政策・計画等(日本改造計画、日本人改造計画)に疑問を表明し、問題提起し、アメリカ人に反省を求めます。

最初の翻訳者、原百代(1912-1991)さんは、「すべての日本人に読んでほしい」という思いから短編が終り、ようやく出版されました。1995年、第二の翻訳者、伊藤延司による「アメリカの鏡・日本」が出版され、ほとんど忘れられていたという歴史的経緯があります。

アメリカが日本に対して1949年から実施してきた年次改革報告書に続き、TPP、そして現在進行中の数々の要望……をみる限り、今には、ミアーズが指摘した日本に及ぶアメリカの政策(日本改造計画、日本人改造計画)の根本的変革は、悲しいかな、望み通りにみえることではなさそうです。

No. 6

「アリス殺し」 小林泰三

推しホントイトル: アリス殺し

ペンネーム: 眠り鼠

"向こうから白兔が走ってくる。

時計から時計を取り出す。「大変だ!遅れてしまう!"

「不思議の国のアリス」の夢を見る、大学院生の栗栖川亜理。

ある日、夢の中でアリスが蛇のビルと話していると、王様の家来や馬が走って行くのを見かける。ハンプティ・ダンプティが塀から落ちたらしい。これは殺人事件だと主張する頭のおかしい帽子屋と三月兔。容疑者にされたアリスはビルと事件の捜査を始める。

一方、現実世界でも玉子と呼ばれる博士研究員がキャンパスの屋上から墜落死する。

「夢の中の死 = 現実世界の死」の繋がりがあるとわかった亜理は、事件の真相を知ることができるのか?

No. 7

「アルジャーノンに花束を」 ダニエル・キイス

推しホントイトル: アルジャーノンに花束を ペンネーム: つむぎ

幸福とは、人の価値とは

知的障害を持ち、幼児ほどの知能しかない青年・チャーリーは脳外科手術を経て天才へと生まれ変わる。

「頭がよくなれば、きっと幸せになれる——」彼の純粋な期待は裏切られ、開かれた世界と引きかえに失うものは多かった。知りたくなかった事実、知能に追いつかない情緒、消えゆく人間らしさ。そして再び低下する知能の中で、彼が守ったものとは?

ダニエル・キイス 著 小尾芙佐 訳 早川書房

ここが魅力!

- ・ストーリーを引き立てる秀逸な翻訳
文字表現の真骨頂!
- ・読後の余韻
最後の2行の美しさ

No. 8

「いつかパラソルの下で」 森絵都

推しホントイトル: いつかパラソルの下で ペンネーム: イルカ

いろいろな仕事を転々としながら毎日をぼんやり過ごす私の前に、ある日突然現れた父の愛人ヤイギ。

「あなたのお父さん、絶倫なんです。」

彼女から告げられたのは、1年前に交通事故で他界した、異常なまでに厳格だった父の不倫と「絶倫」。父の死に対してどこか無関心だった私は、この言葉に突き動かされるように父のルーツを探りはじめる。

これは、恋人に別れを宣告され、今の仕事も失いかけた私が、父にまつわるある事件をきっかけに人生への新たな一歩を踏み出す「ハートウォーミング」ストーリー。

No.9

「虐殺器官」伊藤計劃

推しホントイトル: 虐殺器官

ペンネーム: はしお

うわあ、タイトルがすごくて怖い。読むのやめと。でも思ってたより面白かった。もうお、しらすに
せむせむ手を取って下さい。気がつけば本の世界観にハマリこみ一気に読み間違い
なしてす!

舞台は近未来。主人公の仕事は暗殺。主人公はとある人物の暗殺の任務で政
府から任せてある。その人物が行く先々には100%の確率で民族紛争や大虐殺が
起こるのです…。その方法とは? 目的とは? 主人公の内で起こる葛藤や仲間
の死、そして出会いが物語の結末を思わせる方向へと導いていく…。

「地球は豆粒の中にある」「戦争は啓蒙」。多くの名言に魂を揺さぶられ、
読み終えた後に考えることばかり。残るものがたくさんあるはず。是非一度手
に取ってみて下さい!

No.10

「黄金(きん)の鳥」阿部智里

推しホントイトル: 黄金^{きん}の鳥

ペンネーム: たろはんだ

めたガラス VS 大猿 !!

推理小説、ほい一面とファンタジー感あふれる世界に
ひきこまれます。シリーズ第3弾で、第1~2, 4~6も
おススメです!!

No.11

「恋文の技術」森見登美彦

推しホントイトル: 恋文の技術

ペンネーム: 赤い風船

理系大学(院)生に捧ぐ!

読めは

「いかなる女性も手紙一本で籠絡できる技術」
が身に付く! ^{かも}

〜あらすじ〜
大学1年・守田一郎はある日突然、教授の意向で
京都から熊鷹の実験所に送り込まれることになる。
近況報告をするために守田が選んだのは、今では
めずらしい「手紙」だった。文通相手は、愛が叫ぶまで
パンツをはきかえない女、修論の邪魔ばかりしてくる
先輩、「痛いところをついてくるのが上手い女」「かつて家庭
教師をしていた小學生」、大作家先生の森見登美彦氏。
そして…、恋い抱いている女性。手紙を通して
語られる、守田を取り巻く人々のユニークな物語。

ロータリーエバポレーターの
陰で泣いたことのある人に
オススメ!

※電車で読むといきなり爆笑して
変な目で見られてしまうおそれがあります

※この小説は手紙だけで構成されており、
会話文や地の文はありません

読み終わったら絶対に
文通したくなる!



No.12

「コーヒーが冷めないうちに」 川口俊和

推しホンタイトル: コーヒーが冷めないうちに ペンネーム: ブレンド

あなたには過去に戻って会いたい人がいますか？
過去に戻っても決して現実には変わらない、それでもその人に
会いたいですか？

不思議な喫茶店フニクリフニクラ、そこはカップに注がれた
コーヒーが冷めるまでの間だけ過去に戻れるという店だった
そこに言われた人たちが過去に戻ってやりたいこととは？
家族と、愛と、後悔と、それらが繋ぐ4つの物語
過去に戻ることにはどんな意味があるのか、ぜひご自身の
目で石を割かめてみてください！



No.13

「ころ」 夏目漱石

推しホンタイトル: ころ

ペンネーム: 芭蕉

私が推す本は、皆様にも存知のことでしょう。夏目漱石作の『ころ』です。
高校生の現代文の教科書にも掲載されているので、授業でこの作品を
学習したという方も少なからずいらっしゃるでしょう。終盤のKが自殺する
場面にはただならぬ衝撃を受けたと思います。

私も高校時代に衝撃を受けた一人です。大学生になったこの機に
今度は一から読んでみたのです。先生と私の出会いを知った
上で、先生が私に遺した手紙やそこに記されたKのことを読
むと一味違った印象を受けました。Kの件がいかに関先生に影響を
及ぼしたかが、手に取るように分かる気がするのです。

皆様も是非、この印象を味わってみてはいかがでしょうか。

No.14

「これからの世界をつくる仲間たちへ」 落合陽一

推しホンタイトル: これからの世界をつくる仲間たちへ ペンネーム: 落ちゃん

魔法をかけらる子(人)になりたいですか。

それ 魔法 をかけらる子(人) になりたいですか。

仕事は激減すると言われる未来にたいして、ただの意識高い系の子で
いいですか？ それで、コンピュータに仕事を奪わせます。何。

コンピュータとの差を生かすためにはどうしたらいいか。

現代の魔法使いは 仕事 をつくりませんか。

No.15

「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」 山田真哉

推しホンタイトル: さおだけ屋はなぜ潰れないのか ペンネーム: まっごろう

タイトルにひかれて読みました。

物語かと思ったら、経済学の本でした。

いざおもしろかった。

No.16

「重力の虹」 トマス・ピンチョン

推しホンタイトル: 重力の虹 ペンネーム: まるキ

冒頭のストーリーが

スロースロップ小尉の勃起

⇒ 数日後、そこにV2ロケット落下

というもの。

正直「ふざけてるのか」と思いつながりながら読んでいました。

ですが読み進むとだんだん楽しくなり、まるでドタバタコメディを観ているかのように笑えます。

「アメリカの大学生が読んだブッとする本No.1」らしいので、
広大生のみんなも読んで挫折して鬱憤が抜けよう！

No.17

「女装して、一年間暮らしてみました。」 クリスチャン・ザイデル

推しホンタイトル: 女装して、一年間暮らしてみました。 ペンネーム: チェリー

普通のドイツ人男性である著者が「ストッキングを履く」という「タブー」を破ったことから始まるジェンダーの話。

ストッキング・乳房(取り外し可!)・XY・MHL・女子会といった「女性」の領域へ実験的に踏み込み、「女性」となることにより、著者は今まで自分が囚われていた「男らしさ」の檻に気づく。そして女性として日々を過ごすうちに、「男」であった時には全く関係のなかった女性差別・セクハラ・男女の性差の存在を知ることになる。

この本は、著者が男女両方の立場で経験したことをエッセイ形式で語り、私たち読者が現実の社会問題としてジェンダーを考えることの必要性を訴えている。

No.18

「深夜特急 1 香港・マカオ」 沢木耕太郎

推しホンタイトル: 深夜特急 1 香港・マカオ ペンネーム: 頼戸内

大学生が読んではいけない本。

バックパッカーの旅のバイブルとして有名な本書。
仕事も全て投げ出して旅に出た〈私〉は、インドのデリーからイギリスのロンドンまで乗合バスで旅をする。実話をもとにした紀行小説。一卷読むごとに、世界と自分の可能性が広がります。

深夜特急

沢木耕太郎

読めば、旅に出たくなる。

私はこの本をいつも旅先で読んでいました。でないと、授業を放り出して旅に出てしまいそうで…。これ読んで留年しても、私は責任とりません笑。

No.19

「絶望ノート」 歌野晶午

推しホンタイトル: 絶望ノート / 歌野晶午 ペンネーム: Y

「オイネアギア様、是永雄一郎を殺してください」
学校でいじめられている、中学2年生の太刀川照音は、
その苦しみを「絶望ノート」と名づけた日記帳に書き連ねていた。
照音はある日、見つけた石を神、「オイネアギア様」とし、
いじめグループの中心だった是永の死を祈り、日記に記した。
すると、是永は死んでしまった…。

悪化するいじめに対し、照音は神に死を祈り、次々と死んでいく
級友たち。神が殺したのが、それとも…？
照音、両親、教師、級友、様々な視点から物語は進んでいきます。
何が本当で、誰が悪いのか、分からない。そして衝撃の結末。
だまされたい方は、ぜひ！！



No.20

「多動力」 堀江貴文

推しホンタイトル: 多動力

ペンネーム: 菅ちゃん

1つの仕事をゴリゴリとやり、英面目、根性、我慢、目的、成功…
今更な良しとされすぎて、これを 金2 疑え

常識に捕らわれないな。
それ。

動き続ける。

これから、自分がしたいことをしよう。自分が自分のルールを教える。

そのために、まず 動き始めよう。

No.21

「ドグラ・マグラ」 夢野久作

推しホンタイトル: ドグラ・マグラ ペンネーム: まるき

.....ブウウ.....ンン.....ンンン.....。

あ——ア。サアサ寄った寄った。寄って読んでくんなれ。

さても恐ろしい小説じゃ。聞いてビックリ読んでビックリ。

一度読めば元の自分に二度とは戻れぬ、日本ミステリー文学の金字塔じゃ。

「キの字」とされた青年。頭のおかしな医学者連中。

揃いも揃って個性派揃いの病院譚じゃ。

青年の生い立ち、博士論文、キチガイ地獄外道祭文、等々なんでもござれ。

読めば狂人に近くのは確実じゃ。されどソナ心配一切ご無用。

狂えば九州帝国大学精神病院にて新種の治療を受けるべし。

脳髄は物考える処に非ず、地球表面は狂人の一大解放治療場なのじゃ。

嗚呼、なんと意味不明な小説……チャカボコチャカボコチャカボコ……

.....ブウウ.....ンン.....ンンン.....。

No.22

「何者」 朝井リョウ

推しホンタイトル: 何者

ペンネーム: 瀬戸内



何者 (朝井リョウ)

@NANIMONO

プロフィールを編集

120 フォロー 6.3万 フォロワー

これは、[#就活](#)を目前に控えた[#大学生5人](#)の物語。「就活が辛いものだと言われる理由は、ふたつあるように思う。ひとつはもちろん、試験に落ち続けること。(中略)そしてもうひとつは、そんなにたいしたものではない自分を、たいしたもののように話し続けなくてはならないことだ。」就活の疑心暗鬼におちいる前に、[#これから就活を始める方](#)はぜひ一読をおすすめします....

ツイート

ツイートと返信

メディア

[いいね](#)

No.23

「日本現代怪異事典」 朝里樹

推しホンタイトル: 『日本現代怪異事典』

ペンネーム: オットセイ

... わたしメリーさん。今ゴミ捨て場にいるの

... え? 大学生はもういい大人だから そんな子ども馬鹿しの都市伝説は信じない?

フフ、それもそうね。でも勉強や進路、人間関係といった現実には疲れ気味のあなた達にこそ私のような存在が必要じゃないの?

... そんなあなた達にこの『日本現代怪異事典』をおすすめするわ。

「トイレの花子さん」「口裂け女」みたいな有名どころから、ローカルな都市伝説まで盛りだくさん。言わばたちまち怪異の世界に引き込まれて、あなたの学生生活もきっと愉快になるわ。

... わたしメリーさん。今この本を持って あなたの後ろにいるの

No.24

「変体少女文字の研究」 山根一眞

推しホンタイトル: 変体少女文字の研究(山根一眞) ペンネーム: ph 675

みんな「丸文字」ってしってる? もしもしたらお母さんが書いてるのをみたことがあるかも。70~80年代にはあんな書き方なんだけど、これはあの「丸文字」についての本なの。

わたしはくせ字だから気になってるおんなをみたんだけど、いっしょしれとおもしろかった!

この本をわたしもちゃんと本にならないうわかったし、もったいなく感じる。みんなの好きな本をよみたいな。。。♡

No.25

「墨子」 浅野裕一

推しホンタイトル: 「墨子」浅野裕一 講談社 ペンネーム: 池松

「人間の愛に溢れ、知性の輝きを伴った墨家の明快な論理も、得体の知れぬ人間の心の暗闇に抗すべくもななく呑み込まれた感がある。」この本の中で私が最も気に入り、一節です。墨家の思想的体質とそれに法が結ぶ浅野先生の哀惜の念がキラキラと結晶化しています。

墨家は諸子百家のひとつであり、侵略戦争を否定し、人は皆互いに害することをやめねばならぬとの非攻兼愛等の主張をなさげた、春秋戦国時代の一大学派です。弱肉強食の時代において、理想を実現するため、彼らは各地の城におもむき防衛戦争まで担当したやばい集団です。権勢を誇るも、秦帝国の成立とともに、その後この世から消え失せます。

理想を掲げ、歴史の波間に消えた集団、墨家。一般向けの学術書でありながらその魅力も余すところなく伝えるこの本を手にしてみてください。

浅野先生のどことなく斜に構えた文章も、お楽しみいただけます、まずは解説から。

No.26

「ぼくと1ルピーの神様」 ヴィカス・スワラップ

推しホンタイトル: ぼくと1ルピーの神様 ペンネーム: ア/マロカリス

ある日僕は逮捕された。理由はクイズに全問正解したから!? 教養もない孤児である僕。クイズの賞金は史上最高額の1億ルピー。警察は僕のことを信じてはくれない。そこに現れた助けしてくれるという謎の女性。果たしてこの人を信じるべきか? さあ運命の分かれ道。こんな時僕はコインを指ではじく。僕の幸運の1ルピー石更貨。表が出るか裏が出るかコインは空へとはじかれた。

この物語を描いたのはインドの外交官! その目で見えたインドの実状とは!? クイズ番組「ミリオネア」方式のハラハラ、ドキドキが止まらないストーリー展開! 果たして神様とは何なのか、そもそも存在するものなのか!?

僕は石壁かに矢口でいた。そのクイズの答えを。さあ運命の分かれ道。僕の過去を知らずどうか。悩むのなら幸運の1ルピーをはじくと食い。表か裏か。その答えを僕は石壁かに知っているだろう....

No. 27

「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」河合雅司

推しホンタイトル: 未来の年表 人口減少日本でこれから起きること(河合雅司) ペンネーム: 夏を待つ中帆

「少子高齢化」という言葉は、今や日本人なら誰もが知っているものだろうが、それを漠然としか捉えられていない。自分の問題として考えていていふ人々が多いのではなかいか? 本書は、「少子高齢化問題」といふより付随する周辺問題をいろいろと図表データにより論じている(「00年問題」が頻繁に出てくる)。日本の今、そして未来が、いかに危機的状況に追い込まれてくるかがハッキリとわかる。少子高齢化問題との周辺問題の課題が見えるが、「本書に書かれた将来の事に起こるであろう各々の出来事が、実際に自分にどう影響してくるのだろうか」という視点で読んでみるのをおすすめします。読後感には、まさに、「医者から余命〇年と告げられたあと」といった感じですね。

No. 28

「民衆のアメリカ史:1492年から現代まで」ハワード・ジン 著 富田虎男ほか 訳

推しホンタイトル: 民衆のアメリカ史 ^{1492年から現代まで(増補版)} ペンネーム: ショッキング・ブルーさん

この本に、偶々手にしたのが、すごい衝撃を受けています。アメリカの歴史といえど、アメリカだけのことにとどまらない世界にかかわっている歴史です。読み進むことが、私にはとても辛い苦しい内容でした。目からうろこ(日本で一般的にニコス等で流布されてきたものとは違う!)無意識のうちに持つ歴史認識を、根底から覆されるような。皆さんは覚えていますか? 2004年4月、世界中に配信された、イラクのアフガニスタンでの残虐な残虐な拷問虐待ビデオ! (私は) 絶対にショックでした。こんなことが21世紀にもなると、現代社会で、今後起っているかもしれないことでした。許されないことでした! この本を通読すると、アフガニスタンで起きたことは、今に始まったことではないことを、根が深いことを思い知らされます。米国がうたう「自由」「平等」「民主主義」...の姿、姿がハワード・ジン(1927~2010.12)の手によって、明らかにされます。皆さんも、一度手にしてみたい。ハワード・ジンを 盟友の世界的な名匠ノーム・チョムスキー(90歳の現在も現役で)とともに、教子のナオミ・クライン(ショッキング・ドクトリンの著者)が、世界に警鐘を鳴らし続けている。

No. 29

「夜は短し歩けよ乙女」森見登美彦

推しホンタイトル: 夜は短し歩けよ乙女 ペンネーム: booc



恋に奥手な「先輩」ができるのは、

「黒髪の乙女」の外見をただただ、ひたすら埋めていくことだけ。

そんな先輩を情けないと思いたがらも、どんな共感できるような...

語っているところが、恥ずかしくなるくらいホッとして甘ずっぱい恋模様。

果たして「先輩」は「黒髪の乙女」という域に巡りつづけるのか!?

「人事を尽いて、天命をまて。」

恋に悩むすべての学生に送りたいこの一冊。



学生協働交流シンポジウムを開催しました

9月6日と7日の2日間、総合科学部棟で、学生協働交流シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは毎年中国四国地区の大学図書館が実行委員会となって開催し、今回で8回目となりました。全国の大学図書館の職員と学生とが、お互いに協力し合っ

てよりよい大学図書館を目指す、「学生協働」の活性化を目的にしています。

による事例発表や、活動内容を紹介するポスターセッション、新たな図書館の企画を立てたり学生協働の悩みを相談したりするグループワークでした。広島大学からは図書館サポーター HULSが参加。たくさんの参加者を前に、これまでの活動（小展示目録、書庫ツアー）を発表しました。学生協働の裾野はどんどん広がっています。広大生のみなさんも、図書館と協働してみませんか？



ビブリオバトル チャンプ本決定



バトルの皆さん

[左から]植木さん、島田さん、兼松さん[チャンプ]、森島さん

9月28日、中央図書館BIBLAにて、『全国大学ビブリオバトル*2018～大阪決戦～中国Bブロック地区予選 in 広大』を開催しました。バトル（発表者）は4名、観戦者は約20名でした。この予選で、チャンプ本に輝いたのは、文学部2年 兼松さんの紹介した



坪倉 優介

『記憶喪失になったぼくが見た世界』

でした！ その他のバトルの皆さんが紹介してくれた本は、次の3冊です。

*ビブリオバトルとは、バトル（発表者）が自分のオススメの本を紹介し、「どの本が一番読みたくなったか？」を決める知的書評ゲームです。

●堀内公太郎『公開処刑人 森のくまさん』

●フィリップ・K・ディック

『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』

●柊永太『月の輝く夜、僕は君を探してる』

バトルの皆さんは5分の持ち時間で、身振り手振りを交えながら、本の魅力を言葉巧みに語ってくれました。チャンプの兼松さんは11月3日に広島県立図書館で開催される中国Bブロック地区決戦に出場します。皆さん応援をお願いします！

インターンシップを行いました

9月3日～11日まで中央図書館でインターンシップを受け入れました。今年は3名参加してくださいました。業務説明と実習、学生協働交流シンポジウムへの参加など盛りだくさんな内容で大変だったと思いますが、頑張ってくれました。社会に出てもしっかり活躍できると思います。ありがとうございました。



お知らせ 中央図書館にカフェがオープン



中央図書館入口エントランスにla la la Caféがオープンしました。勉強の合間のリフレッシュなどにご活用ください。

営業時間 20:15-23:30
[授業期間の平日のみ]
※支払いは広大生協電子マネーのみ

英語多読強化キャンペーン実施中

中国・四国の国立大学（一部）と共同で多読キャンペーンを実施中です。それぞれの期間に設定される目標の達成数に応じて中国・四国の大学図書館グッズなどをプレゼント！ 詳細は図書館HPのお知らせをご確認ください。



図書館サポーターHULS活動報告

HULS(Hiroshima University Library Supporter)は、「図書館を人と人の架け橋に」をモットーに活動しています。この広報誌「みんと」の記事も作成していました。小展示、学生選書のほか、イベント企画など、新しいことにもチャレンジしています。

http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=7158

@huls_vobrist

<https://www.facebook.com/HULibrarySupporters/>



メンバー随時募集中

編集後記

「みんと」は20号をもって休刊することになりました。長らくのご愛読、ありがとうございました。今後はTwitterやFacebookなどで、図書館のホットな情報をお届けする予定です。引き続きどうぞよろしくお願いします。

HP <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp>

@HiroshimaU_Lib

<https://www.facebook.com/HiroshimaULib>

みんと20号 平成30年10月31日発行
広島大学図書館
〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2